

2023・11・20

新会員スクール
補充教材

講師 L 笈田壽一

皆さんは、色々な想いや経緯で、網走ライオンズクラブに入会をされました。

皆様の中には、まだライオンズクラブの現実的なイメージが出来ていないのに、いきなり役員の指名等を受けて、戸惑っている人も居ると思います。ライオンズクラブの事が良く分からないまま、その一歩を踏み出せないで居る人も、居るかも知れません。

今日の新会員オリエンテーションは、そうした思いを説き明かす機会に成ればとの思いで、講師を務めますので、宜しくお願い致します。

どんなスポーツにもルールがあり、人が集う処、必ず規約やルールがあります。

特にスポーツ等は、ルールを理解しなければ、プレーをしていても、観戦していても、全く面白さは伝わりません。

ライオンズクラブも一緒です。

色々なルールや規約があり、それをまとめて収録しているのが、ライオンズ必携であり、その内容を要約して載せているのが、会員手帳と言う事に成ります。

よって、その中から今日は必須なものを注出して、説明したいと思います。

ライオンズクラブは学校のように、一、一、細かく教えたりはしません。必要な情報はスポンサーに聞いたり、先輩に教わったりしなければなりません。

又、その行為が会員相互のコミュニケーションを深める事にもなる訳です。

私しも入会時、必要な事は概ね、会員手帳やライオンズ必携に書いてあるから、読みなさいと、言われました。

そうした意味で、今日は貴重な時間と成りますので、頑張って頂きたいと思います。

まず、私たち網走ライオンズクラブの立ち位置から、説明に入ります。

国際協会は、全世界を 7 つの地区に分けて、統治して居り、日本は東洋東南アジア地区に属して居ります。

最近では、オセアル地区と呼ばれる方が多いですが、年に一度、この地区の会員が親睦と意見や情報交換をするのが、オセアル・フォーラムです。

2025 年には札幌市で開催され、会員であれば誰でも自由に参加できます。

日本は、330～337 の 8 複合地区に 35 の準地区に分割、構成されて居ります。(ライオン誌、最終頁に記載)

例えば、北海道は 3 つの準地区から構成され、A 地区・B 地区・C 地区、この 3 つが合体して、331 複合地区と言います。

現在の概ねの規模ですが、

331－A地区は、道央地区で	71 クラブ	約 2350 人
331－B地区は、道東・道北地区で	72 クラブ	約 2040 人
331－C地区は、道南地区で	43 クラブ	約 1450 人

準地区の統括者は、地区ガバナーで、複合地区の統括者は、複合地区ガバナー協議会議長と成ります。

準地区、我々が所属する 331－B 地区は、さらに地理的条件等から 10～16 単位クラブからなる、5 つのリジョンに分けられて居り、網走ライオンズクラブは、第 5 リジョンに属します。

第1Rは、	釧路方面	2Z	10クラブ	332人
第2Rは、	旭川方面	2Z	14クラブ	384人
第3Rは、	帯広方面	2Z	17クラブ	389人
第4Rは、	稚内・留萌	3Z	16クラブ	503人
第5Rは、	北見・網走・紋別方面	2Z	15クラブ	455人

北見・網走・紋別地区の第5Rは（別紙参照） 地区管理のために、4～8 クラブから成るゾーンに、分けられて居りまして、ゾーン毎に地区ガバナーによって任命された、ゾーンチェアパーソンによって運営されて居ります。

先日、第5R 第2Z の佐藤ゾーンチェアパーソンの当クラブへの公式訪問がありましたが、あの様にゾーンチェアパーソンは、地区ガバナーの手足になって、ガバナー諮問委員会を開催して、議長として、地区ガバナーの事業方針やキャビネット会議の結果を伝える等、ゾーン内のクラブの実情を把握して、運営に当たる訳です。

以上の事から、私達の所属は

国際協会 331-B 地区

第5R・第2Z 網走ライオンズクラブ所属

L となります。

第5R の組織系図はライオン手帳 47P に

331B 地区のキャビネット組織表、公式行事、予定表やガバナー就任メッセージ、国際会議メッセージ等は
地区の機関誌、エコーに掲載されます。

国際協会や日本ライオンズの動向や新方針等は
ライオン誌に掲載されます。

更に詳細を知りたい人は、ライオン誌ウェブマガジン
『情報資料』を QR コードからダウンロード出来ます。

それでは、網走ライオンズクラブの組織と構成について、話をします。

網走ライオンズクラブは、現在

稚内北斗LC所属の 地区ガバナー L 藤原回向 と
美幌LC所属の ゾーンチェアパーソン L 佐藤正明
の統治の元にあります。

会員手帳の 6Pを開いて下さい。

61 代会長は L 山内 秀郎
幹事は L 井上 一喜
会計は L 片山 浩幸 を三役と称し

それに、第1副会長 L 立崎 聡一
第2副会長 L 後藤 雅昭
副幹事 L 三坂 知之 を加え

六役と称し、六役会を構成しています。

委員会は、クラブの運営に従事する運営委員会と、それぞれの分野で奉仕活動の計画、実行する事業委員会に分かれ、それぞれ担当委員長のリーダーシップの元で、活動をして居ります。

運営委員会は、第1副会長
事業委員会は、第2副会長が総括して、担当します。

アメリカ発祥のクラブですから、全て英語ですが、概ね日本語に翻訳されて、委員会等の名前が付いて居りますが、テールツイスターとライオンテーマだけは、翻訳出来ず、そのままの名称となつて居ります。又、YCE委員会、アラート委員会については、馴染みのない名称なので、後程、別途説明します。

6 役に前会長、各委員長、テールツイスター、副テールツイスター、ライオンテーマ、副ライオンテーマの以上の 17 人が理事者、理事構成員と成り理事会を構成します。
又、三役を除き、全ての会員はそれぞれの委員会に配属されます。

それと関連が、ありますので、
G A T (グローバル・アクション・チーム) について一寸、説明します。

①立崎第1副会長のG.S.T委員は、グローバル奉仕チーム
(グローバル・サービス・チーム)

②後藤第2副会長のG.M.T委員は、グローバル会員増強チーム
(グローバル・メンバーシップ・チーム)

③加藤指導力育成委員長のG.L.Tグローバル指導力育成チーム
(グローバル・リーダーシップ・チーム)

グローバルが付くのは、世界規模のプロジェクトと言う意味です。
それぞれ、キャビネットにコーディネーターが配置されて居ります。

それに日本だけ、

④L 山崎友子 家族及び女性チーム (F.W.T)
(ファミリー アンド ウーマン チーム)

この4チームを総じて、G.A.Tと、言います。

今年から、この4チームに加えG.E.T (グローバル・エクステンション・チーム) が加わり、新クラブ結成に向けた取り組みを強化する旨、発表されました。

次世代リーダーシップ委員には、

L 石川玲司とL 福田稔が配置されて居ります。

当クラブには、該当の委員会が無い為、キャビネット直属と、成って居ります。

ちなみに、次世代リーダーシップ委員会の初代キャビネット委員長は当クラブのL 寺中賢武ですが、現キャビネットには、この委員会がありません。

山内会長が担当する、L C I F委員は、

L C I Fの取り組みについて熟知し、L C I Fが支援する様々な交付金及び事業について、啓発出来る会長が務める事に成って居ります。

以上が、当クラブの組織の全容です。

※キャビネットと言う言葉が良く出て来ますが、正確には地区ガバナーキャビネットと言います。

地区ガバナーと地区委員から成る地区の本部と言った、理解で良いと思います。

地区の運営方針を決定して、その実行に当たります。

又、社団法人日本ライオンズについても、従来の8複合地区に共通する事務を行なっていた、日本ライオンズ連絡事務所とライオン誌を発行しているライオン誌日本語版事務所が統合され、この名称になりました。主な業務は、8複合地区に共通する事務やライオン誌日本語版の発行です。

それでは先程、出て来た (会員手帳 6P)

G. A. T グローバル・アクション・チームについて、もう少し詳しく説明します。

クラブ会長がファシリテーター（進行役）を務める、G. A. Tは2017年7月に発足しました。

グローバル指導力育成チーム (G. L. T)

グローバル会員増強チーム (G. M. T)

グローバル奉仕チーム (G. S. T)

と日本の場合のみ

家族及び女性チーム (F. W. T) の4チームから成り、

ライオンズの4つの重要な分野が統合されたもので、クラブに活気をもたらし、成長と奉仕に相乗効果と新しい機会を創出するのが、ミッションすなわち、使命と成ります。

2017年は、ライオンズクラブ生誕100周年に当たり、

“キャンペーン100”と言う、プロジェクトが打ち出されました。

その内容は、2021年6月30日までの3年間をかけて、3億ドルの調達を目指し、奉仕を通じて、2億人以上の人々の生活を変える為に、ライオンの会員数を170万人に増やし、2020年までに50万人以上の会員に学習の機会を提供すると言った、壮大な計画です。

このプロジェクトは、2020年以降も2022年6月まで延長された結果、奉仕を拡大する為の資金の確保はLCIFのキャンペーンにより、3億2500万ドル集り目標は達成されましたが、この資金を生かす為に意義ある奉仕活動に携わる会員の増強170万人は、正直不発に終わりました。

その様な背景から、ライオンズクラブ国際協力は今期から2027年7月1日までに全世界で会員数150万人達成を目指す“ミッション1.5”を掲げて現在、進行中であります。

※国際協会、現在の会員数は1,341,710名、期間中に158,290名以上の会員増強が目標と言う事に成り、日本での目標は期間中に2万人の会員増強です。

日本でも、近年の社会経済情勢の変化により、会員数が減少の一途をたどり更に、この数年は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、クラブの奉仕活動も停滞を余儀なくされました。

このままではいずれ「We Serve」の灯が消えかねないと憂慮して居り、今こそ元気で魅力あるクラブを育み、奉仕の灯を一層、明るく輝かせて、次の世代につなげていく事が喫緊の課題となって居る訳です。

これは、私の個人的な見解に成りますがG. A. Tについて、判り易く言うと、日本のライオンズクラブは毎年、多くの仲間を迎えていますが残念な事に、高齢化等で退会者数が入会者数を上回り、近年、年平均5,000人以上の減少を続けて居りまして、この状況があと20年続けば日本のライオンズクラブの火が消えてしまいます。

こうした強い危機感の下、時代と共に変化する奉仕の担い手を増やす事を目指して、全国のメンバーが一丸となって会員増強に特化した活動と退会防止に全力で取り組むための旗振り役として、出来たのがG. A. Tなのだ和理解して頂くと、判り易いと思いますが、私にはG. A. Tがダイナミックな活動をしている様には、見受けられませし、成果も上がって居りません。

私たちのライオンズクラブを未来につなげる為には、誰かが会員増強をするだろうと人任せにするのではなく、一人一人が責任感を持って取り組む姿勢が必要です。

ASK1（アスクワン）と言うキャンペーンがありました。

加藤指導育成委員長の社名にもなっている訳ですが、1人、1人が自分の廻りの1人に声掛けをしましょう、と言う事ではないでしょうか。

その為には、まず自らが、ライオンズクラブが好きにならなければ、説得力はありません。

（ライオンズ必携 G. A. T 204P、キャンペーン 100 198P 参照）

YCE（ユースキャンプ及び交換）について、説明致します。

当クラブでは、教育・青少年育成委員会と併設のYCE委員会があります。

YCE事業は「世界の人々の間に相互理解の精神を培い発展される」と言う、ライオニズムの第一の目的を推進するための1つの手段として、16歳～21歳までの会員の子息を海外各地のライオンズクラブへ派遣留学させたり、又、海外のクラブから派遣生をホストクラブとして受け入れたり、国際ユースキャンプに参加させたりする事業です。

1. 他国の人と接する機会を青少年に与える。
2. 異なる文化的背景を持つ家庭や地域社会の生活を経験させる。
3. ライオニズムを通して、国際理解と親睦を促進することを目的として居ります。

この事業はいずれも単一クラブのアクティブティーとして、実施されますが期間は派遣留学生、派遣生受入は派遣先や派遣生の学業等の事情によって、概ね3週間から1ヶ月半程度だと思います。

応募については、キャビネットから各クラブに案内があります。希望者があれば、YCE委員会を通じ、理事会の承認を得て事業となり派遣や受入の費用は事業費からある程度、支給されます。

然し乍ら、最近では世界各地で紛争やテロ行為が頻繁に発生して治安が安定せず、この事業が低調で事実上、休止状態にあるのは非常に残念です。

アラート委員会について、説明致します。

(会員手帳 50P アラート連絡網参照)

当クラブでは、市民社会福祉委員会に併設して居ります。

近年、世界中で毎年の様に大規模災害が発生して居ります。

日本も何時、どこで災害が起こるか分からない状況にあることは、皆さんも充分感じて居られると思います。

この事に関して、人道支援の観点から災害地に於ける迅速な支援活動を行うための体制を日頃から構築する為に、各クラブ内にアラート委員会を設置する様、国際協会の要請により出来た委員会です。

活動としては、地域で災害が起きた場合に備え、各ライオンズクラブが連携して、市役所、社会福祉協議会、ボランティアセンター等と日頃から打合せ会議を実施、参加して役務の分担や支援についての協議を行ないます。

網走ライオンズクラブでは、CN55 周年記念事業として、網走市役所と災害時に於ける連携協定を締結、更に、CN60 周年記念事業として、網走社会福祉協議会、FMあばしり社と災害時に於いて、三者の長所を生かしメディアに依る市民への情報の早期伝達、災害ボランティア活動の支援を円滑にし、市民の安心安全に寄与する事を目的に災害時に於ける、連携協定を締結して居ります。

会員手帳 50～51P に記載のアラート連絡網は、網走市近郊で万が一、災害が発生した場合、災害時の連携協定に基づき、アラート委員会の要請に従い迅速な支援活動を行なう為の連絡網であります。

尚、緊急援助資金として、複合地区に於いて災害時に備えて積み立てがなされ、資金が著しく少なく成った場合には、会員に資金の拠出の要請があります。

これまでは、ライオンズクラブの組織と役割についての説明でした。

続きまして、クラブの主な行事について、説明致します。

会員手帳 7P のライオンズカレンダーを見て下さい。

ここに記載の行事は、概ね、この月に実施される大きな行事です。
ライオンズクラブはアメリカ暦で、7月が期首で6月が期末に成ります。
そして、12月を境に前期と後期と成ります。

8月のガバナー公式訪問は、日程に流動性がありますが、地区ガバナーに就任すると、必ず各クラブを訪問する義務がありますので、この5Rでは、毎年15クラブ合同で、北見ホテル黒部に於いて、ガバナー公式訪問を受けます。

ガバナーの所信表明を直接、聞く機会となります。

10月のライオンズデー、文字通りライオンズが誕生した記念すべき日。
毎年10月8日を世界ライオンズ奉仕デーとして、世界中のクラブ、会員がライオニズムを行動で示す日として、制定して居ります。
当クラブでは、特別委員会を立上げ、労力奉仕で汗を流し、慰労会ではその心地良い疲れを癒しつつ、「ウィーサーブ」の精神を今一度、再考しつつ、楽しい時間を過ごします。

ちなみに、このライオンズ奉仕デーを制定したのは、日本が最初で後に国際会長が、その就任挨拶で世界中に訴え、制定され今日に至って居ります。

5月の地区年次大会は、ガバナーを輩出した地区に於いて、開催されます。(来年は稚内市に於いて、5月 日 式典と晚餐会が開催予定です)
各クラブから選任された、代議員によって、地区の今後の事についての決議、これまでやって来た事の承認など、大事な問題が処理される年に一度の331-B地区大会です。

重要な決議事項の中には、次期地区ガバナー及び、副地区ガバナーの選出も含まれますし、地区のこれからの在り方や、これまでの承認など、多くの決議を分科会で審議して、その結果を大会で報告をして、全員の承認を受ける訳ですが、実際は堅苦しい式典セレモニーより、旧知のライオンとの歓談、親しい仲間達との再会、アトラクション等、当地自慢の美味しい会食での懇親を楽しみに、参加される会員の方が、多いと思います。

記念ゴルフ大会、パークゴルフ大会等も開催されます。

6月のチャーターナイト

新クラブが国際協会の一員となった証として、交付される認証状の伝達式をチャーターナイトと言います。

よって、私達が通常行っている、チャーターナイトとは、一寸、趣が違います。

私達が行う記念会は、クラブが今日まで発展し続けた事を会員同士で喜び合い、更に将来への発展を再確認し合うと共に、現役員の一年間の御苦勞を称え、新役員の門出を祝う行事と理解して、欲しいと思います。C N 61 は認証を受けてから、61 年目の記念日と言う意味合いで、使われるのが、どこのクラブも慣例となっている様です。

チャーターナイト記念会ですが、5 年、10 年の節目の年次には、スポンサークラブの北見 L C や Z C 等のキャビネット役員の外、主に第 5 R 内のクラブ、更には姉妹提携している、川崎中原 L C も招へいして、盛大に式典や 懇親会を行ないます。

ちなみに、当クラブでは、昨年度に C N 60 周年を盛大に開催致しました。

この他に、年度初めに例会予定表、又、前年度のアクティブティ一覧表等も、例会に於いて、配られますので、それらを参考にすれば、概ねの、年間スケジュールは立つと思いますので、極力この大切な行事には、参加する努力をして欲しいと思います。

(会員手帳 20 P、会議、大会の種類、参照)

事業資金の財源について、説明致します。(会員手帳 21P)

ライオンズクラブのモットーは、We Serve (我々は奉仕する) であります。

We の由縁は、ライオンズクラブはチームワークで奉仕活動を行うからです。

地域社会に向かって行なう奉仕活動、これなくして、ライオンズクラブの存在理由はありません。

このライオンズクラブの目的を達成するための “ 活動や働き ” 等のあらゆる行動を我々は、アクティブティーと呼んで居ります。

そして、この事業を行なう為には、事業資金が必要となります。

アクティブティーの資金も、会費で賄われるものと思っている会員が居りますが、

会費 150,000 円の内訳は、当クラブでは、(会員手帳 18P)

運営費として・・・90,000 円で主に上部機関への会費や負担金、事務所費、会議費等です。

食費として・・・24 例会 36,000 円 (1 食・1,500 円)

特別例会会食費として・24,000 円 (4 回・6,000 円)

(ライオンズデー・忘年会・新年会・チャーターナイト)

となっておりまして、事業資金は含まれて居りません。

尚、LCIF の関係で現在、年会費請求時に 20 ドル献金の請求が届きますので、宜しくお願いします。

LCIF については後程、説明致します。

事業資金の財源は、主に例会で会員の自発的行為を原則にドネーションによって、集められます。

会員の慶事、役員就任、表彰、誕生日、新築、全快、弔意、見舞に対する謝礼や例会、アクティブティーを止むを得ず、欠席する場合やウィザーブライオンズローアに指名された場合等、様々な機会に会員の善意に寄ってドネーションされ、例会に於いて、テーブルツイスターから紹介されます。

当クラブでは、概ね事業費として、1,500,000 円程度の予算を計上して居りますので、テールツイスターのドネーション・ファインの報告時、累計金額も発表されますので、達成率も注視して頂きたいと思います。

又、事業資金の財源には、会員拠出金（オールドドネーション）と言って、事業資金として、例会の承認を得て、全会員から平等に拠出して頂く、場合もあります。

通常、ドネーションは例会出席者から、自発的に拠出されますが、オールドドネーションは会員全員から、徴収されます。
これが事業資金の財源となります。

先程、テールツイスターのドネーション・ファインの報告に触れましたが、ファインは早退や遅刻の際に科せられる、罰金です。
テールツイスターの席にある、金属の箱に入れますが、これは事業資金に使用出来ず、運営費の雑収入に入ります。

この他、当クラブには、協力金と言う制度があつて（会員手帳 25P 記載）
届け出欠席 200 円、無届欠席 300 円又、前期、後期と PR 委員会で撮った写真を購入しなければなりません。

これら協力金も、運営費の勘定に雑収入として入り、運営費の補填財源となります。

徴収は、テールツイスターにより、4 ヶ月毎に行なわれますので、協力をお願い致します。

LCIF（ライオンズクラブ国際財団）について、説明致します。
（ライオンズ必携 197P）

私たちライオンズクラブの一員として、取り組まなければならない課題は色々ありますが、取り分け喫緊の課題はクラブに活力を得る為の会員増強とライオンズクラブの活動の基盤を支えるLCIFへの理解と協力、この2点だと思います。

国際協会の 100 周年記念事業 “ キャンペーン 100 ” の昨年までの期間中の目標として掲げているのも、この 2 点でありますし、今般の 2017 年までの新事業 “ ミッション 1.5 ” も、この目標の継続と達成にあります。

LCIF（ライオンズ・クラブ・インターナショナル・ファンデーション）

このファンデーションの意味は、土台や基礎と訳されます。

LCIFは正に、ライオンズクラブの行なう活動の基礎を支えるものだという事と、私達ライオンズクラブには地域社会への奉仕のみならず、国際社会に対する奉仕活動も求められている事をまず、皆さんに理解頂きたいと思います。

LCIFは献金を通じて、世界中のライオンズ 4 万 9 千のクラブ 135 万人の力を結集して、これを世界規模の人道奉仕や緊急災害援助に充てたり、クラブや地区が独自で行うには規模の大きい事業に対して、交付金を拠出することで、世界のライオンズクラブを支援する役割を持っている訳で、その収入源は世界のライオンズメンバー等からの善意の献金で、賄われて居ります。

然し乍ら、近年頻繁に起きる大災害、又、内戦等に依る飢餓や病気に対する交付金の申請が急速に増え、献金額を上回る交付金の支給が続いていると言う厳しい現状となって居ります。

日本では、献金ばかりで交付金の支給がないと思っている方が多い様ですが、地区の申請に依る交付事業の件数が最も多いのは実は日本であり、毎年 1 億数千万の交付金が届いて居ります。

近年では、熊本地震に対して 4 億、東日本大震災には 20 億、平成 30 年道央で起きた地震台風被害では、331B 地区に 2 万ドルの緊急援助資金が届いたのは記憶に新しい処でありますし、当クラブでも、北海道胆振東部地震の折には、当時の鎌田会長のリーダーシップで被害の大きかった、安平町や厚真町に会員有志が支援物資を直接、届けました。

LCIF への善意の献金は 100% 交付金として、奉仕事業に使用されて、運営費等に充てられる事はありません。

近年のウクライナやガザ地区等での惨状は、皆さんも承知の事と思いますが、ウクライナ人道危機における LCIF の対応については、軍事侵攻直後からウクライナ及び、その隣国で避難民を支援するライオンズに交付金を拠出し、7 万人以上に日用品、食糧、医薬品を配布する緊急支援を行い、以来、現在まで 67 件の事業に総額 437 万 5823 ドルを提供し、27 万人以上の避難生活の支援を続けて居ります。

LCIF の難民避難民資金には、2023 年 3 月現在、世界中から総額 893 万 1383 ドル（日本円で 13 億 4000 万）の善意の献金が寄せられ、その内、日本からの献金は 1 割強を占めて居ります。

クラブでも日常、LCIF について語られる機会は余り多くありません。この機会に LCIF について、正しく理解して頂き献金の要請があった時には、善意の協力を快く、お願いしたいと思います。

LCIF では、全てのクラブで目標 1 人 20 ドルの献金とクラブ 1 人のメルビンジョーンズフェロー（1000 ドル献金）の達成を期待して居りますが、掛け声だけでは達成が容易でない事から、クラブの LCIF 委員には、LCIF の取り組みや交付金の制度に精通している、クラブ会長が就任する事と成って居ります。

（ライオンズ必携

ライオンズクラブ国際財団 26P、197P、246P 参照）

家族会員について、説明致します。
正確には、家族会員プログラムと言います。

ライオンズ必携の会員の種別にも記載のない、この家族会員ですが、
山田實紘 元国際会長が、エレクトの時に、国際協会 生誕 100 周年を
成功させ様と言う、気運の中で 30 数年振り、久々に日本から国際会長
の誕生と言う事もあって、詳しい見通しや説明も余りないままに、
会費の割引特例等と言って、家族会員と称する、特別会員は国際会費の
半額、215 円を納付すれば、日本に限定して、正会員と同等の権利を
付与すると言った、出来た時から、いい加減な制度と、私は個人的
には思っています。

それも、飽くまで期限付きの暫定措置と言う事でしたが、現在も
なし崩し的に認められ、地区費の納入義務からも外す、決議がなされ
ました。

網走ライオンズクラブでは、この家族会員については、あくまで暫定の
特例措置であって、期限が切れた後の制度設計が明確になるまでは、
導入を見送る事を理事会に於いて、決議して、今日に至っています。

又、賛助会員についても、適用はして居りません。

(ライオンズ必携 82P、224P 家族会員プログラム 参照)

視覚障害者への援助と献眼について

1925 年の年次大会で、皆さんも御存知の、あのヘレンケラー女史が盲人の為の援助を訴えて以来、長い間、ライオンクラブにとって、主要な奉仕活動が、この視覚障害者への援助とアイバンク（献眼）活動で、あります。

1991 年からの 3 年間の “ 視力ファースト・キャンペーン ” では、目標の 1 億 3000 ドルを達成。

2005 年から 3 年間の “ 視力ファースト II・キャンペーン ” では、目標の 2 億ドルの資金が集められ、

河川失明症の撲滅や、ライオンズ眼科治療センター設立に、資金が使われました。

盲人が使う “ 白い杖 ” という、言葉は現在、万国共通となって居りますが、このキャンペーンの中で、考案されたものです。

ライオンズクラブの奉仕の所産として、誇りにしたいと思います。

この様にライオンズクラブは、視覚障害者への援助には、世界で多大なる貢献を行なっている事を承知頂きたいと思います。

日本に於いては、アイバンク、献眼運動に力を入れて居り、会員に献眼登録をする様、奨励して居ります。

ちなみに、当クラブの故 L 有里伸一ガバナーは、逝去に当たり、自ら推進していた献眼運動で、自分の角膜を提供して、2 人の視力障害者に、光を与えました。

これらを総じて、ライオンズクラブ・アイヘルス・プログラムと言いますが、アイバンク、献眼運動は LCIF の傘の下に実施される、ライオンズの伝統的な事業だと、言う事を知っておいて下さい。

最後に

入会年数が浅い、会員に役が廻って来るのは、常に新しい会員がフレッシュな感覚で、環境の変化に対応した運営をして行く為と、埋もれた人材を発掘し、新しい経験を得させる事により、クラブ全体がレベルアップする為であるから、チャンスがあれば、どんどんチャレンジして、成長して欲しいと思います。

2014 年、国際協会は、クラブ例会の在り方を見直して、
“ ユアークラブ・ユアーウェイ あなたのクラブ、あなたのやり方で ”
と言う、パンフレットを発行して、時代の変幻に伴い、クラブ運営に関する、若干の問題点や違和感も露呈して来た為に、クラブは会員のニーズに合わせて、厳格な式次第や、儀礼等を再考する様、この文章は提案して居るものと、思います。

半世紀に亘って、歴史を積み重ねて来た、網走ライオンズクラブも、当時の社会情勢では、評判が良かった運営の仕方や事業活動でも、半世紀と続ける内に、実情にそぐわないものに成るのは、当然であります。

要は会員、一人ひとりが、クラブの進むべき道を真剣に考え、地域社会から遊離した存在にならない様に、謙虚な態度で、足元を見つめると共に外見よりも、まず、クラブ内部の充実に力を傾注し、前例にとられる事無く、最もクラブの現況に相応しい方向に、柔軟に修正すべきだと、私も思います。

それこそ “ あなたのクラブ、あなたのやり方で ” で、あります。

そして皆さん、色々経験する中で、ライオンズクラブの本当の在り方や、そのスピリットに触れて、ライオンズ自体を好きになって、頂きたいと思います。